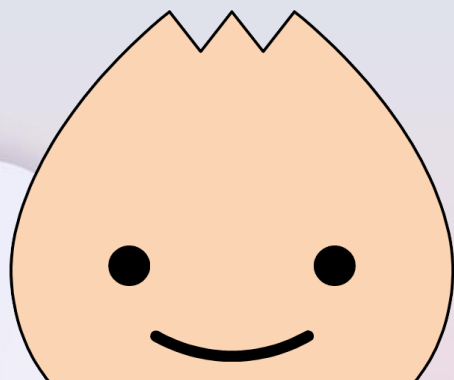


放課後等デイサービスにおける 支援プログラム 公表



株式会社北海道ケア・サポート
児童発達支援 らいと

作成日：令和6年12月1日

法人理念

地域社会で生きる力を育てる。

支援方針

**それぞれに合った支援で子ども達に
「光」が当たるように**

1. 基本的生活習慣

自分で、できることを増やすこと

2. コミュニケーション

自分の思いを相手に伝える方法を身につけること

3. 協調性

おもちゃや物の貸し借りが出来ること

4. 社会性

周りのペースに合わせて行動できること

5. 人間性

お手伝いなどで人の役にたつ喜びを知ること

営業日

月曜日から土曜日

休業日

日曜、祝祭日、GW、
お盆（8月13日～15日）年末
年始（12月29日～1月3日）

営業時間

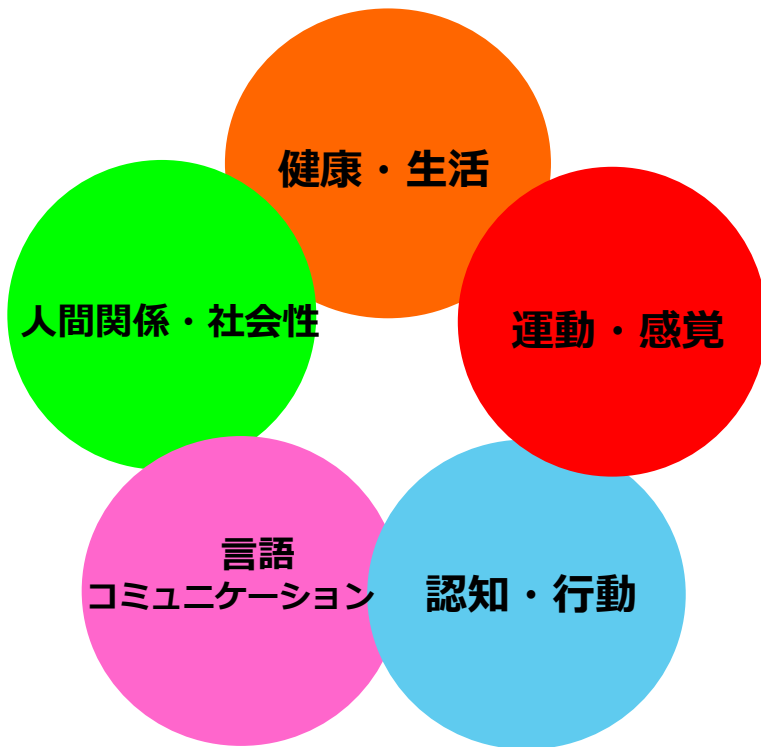
11：30～17：00

送迎の有無

あり

5 領域 プログラム

らいとでは、5 領域に基づく以下の支援プログラムを組み合わせた支援を行っています。
また、5 領域に関するアセスメントを行っていき、ニーズに合った具体的な支援計画を立案、実践しお子様の成長や発達を支援していきます。



5 領域はそれぞれが独立しているということではなく、相互に関連し重なっています。

将来地域社会で生きていく力を育てることを念頭に置き、すべての子どもに 5 領域の視点を網羅した、個々の発達段階や特性に応じた支援を行うことを心がけています。



健康・生活

運動・感覚

認知・行動

① 心身の健康や生活に関する領域

- (a) 健康状態の維持・改善
- (b) 生活のリズムや生活習慣の形成
- (c) 基本的生活スキルの習得

② 運動や感覚に関する領域

- (a) 姿勢と運動・動作の向上
- (b) 姿勢と運動・動作の補助的手段の習得
- (c) 保有する感覚の総合的な活用

③ 認知と行動に関する領域

- (a) 認知と発達と行動の習得
- (b) 空間・時間・数等の概念形成の習得
- (c) 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得



④ 言語・コミュニケーションの獲得に関する領域

- (a) 言語の形成と活用
- (b) 言語の受容及び表出
- (c) コミュニケーションの基礎的能力の向上
- (d) コミュニケーション手段の選択と活用

⑤ 人との関わりに関する領域

- (a) 他者との関わり（人間関係）の形成
- (b) 自己の理解と行動の調整
- (c) 仲間づくりと集団への参加

らいと 支援内容

健康・生活 ・物理的構造化やスケジュール等の視覚提示 ・身支度練習 ・お手伝い（タオル、洋服畳み・干し、拭き掃除、食器洗い等） ・リボン結び練習	運動・感覚 ・トランポリン ・ゴム跳び ・ブラブラ橋 ・踏み台昇降 ・紐通し等の微細作業や自立課題	認知・行動 ・数、時計、文字、お金に関する自立課題やプリント ・パズル ・制作活動
言語・コミュニケーション ・報告、連絡、相談に関する個別活動 ・PECSや絵カードでのコミュニケーション支援 ・職員やお友達との関わりを通じた語彙数の向上や円滑なコミュニケーションの学び	人間関係・社会性 ・集団遊び（すごろく、人生ゲーム、トランプ等） ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を使った暗黙のルールの理解や社会的なルールの学び	家族支援 ・児童の発達・特性に関する状況の共有、相談・助言 ・定期的な保護者面談 ・ペアレントメンターを招いての茶話会（年2回程度）
移行支援 ・各教育機関、就労施設や生活介護、入所施設等との連携 ・進路についての相談・助言 ・移行に向けた汎化の取り組み	地域支援 ・サービス担当者会議の実施、参加 ・児童の発達・特性に関する状況、支援の共有 ・自立支援協議会への参加 ・社会資源の活用	主な行事 ・法人夏祭り ・クリスマス会 ・ハロウィン ・夏休みや紅葉のお出かけ

職員の 質の向上



イベント開催

強度行動障がい支援者養成研修、札幌市実践セミナーへの講師・ファシリテーター派遣、講師を招いた保護者勉強会の実施

講演会、研修、勉強会

児童発達支援管理責任者研修、強度行動障がい支援者養成研修、自閉症援助技術研究会講演会、オンライン研修、支援力向上研修、法人内実践報告、地域自立支援協議会勉強会、虐待防止・身体拘束適正化研修、感染症対策研修

おがる機関支援

社会福祉法人はるにれの里自閉症・発達障がい支援センターおがるに依頼し、事業所に来所していただき支援に関する様々な意見やアドバイス、勉強会や実践報告を行い、より良い療育へ向けた職員の質の向上を図っています。